

海辺のリゾートホテル

小鳥の囀りで目が覚めた。それは爽やかな美しい音色であった。まだ日の出前の薄明かりの中。姿は見えねども小鳥達はあちこちで朝の挨拶を交わしている。目の前のマラッカ海峡の空には朝焼け雲が一日の始まりを祝福していた。

浅瀬の海に突き出すように水上コテージが並んでいる。部屋のバルコニーに立って周りを見渡しながら大きく深呼吸をした。朝の空気がこんなにも美味しいものかと初めての感覚であった。ふと足元を見ればそこは海の中。まるで海上に浮くホテルであった。

ここポートディクソンはクアラルンプールから車で1時間余りの距離。マレー半島の西海岸に位置する港町。この辺りは18kmに渡って美しい白砂のビーチが続いている。南国情緒あふれる素敵な宿泊施設も多く点在し、リゾート地として多くの観光客で賑わっていた。

その中で私が宿泊したアビリオンポートディクソンホテルは伝統的なマレーシアの漁村をイメージしたリゾートホテル。結婚式、スパ、ジム、ウォータースポーツ施設他、数多くのレストランを提供。各部屋のアメニティも充実している。そして何よりも全てが清潔感に包まれていた。

特に気に入ったのが部屋に供えられた湯船だ。シャワーが主流のこの国にあって、それも露天風呂のように星空を仰ぎながらの入浴は旅の疲れを癒やしてくれる。人間が生きていくうえで適当な肉体的・精神的な癒しは必要である。癒し続けでもしょうがないが…。 撮影 2014 年秋

